

親子の学び応援講座

日時：令和2年12月3日（木）13：30～

会場：只見町立明和小学校

「AI・IoT時代の望ましい意思決定・行動選択とは」

講師：福島県生徒指導アドバイザー 目黒 朋子 氏

あなた以上にあなたを知っているAI

通話履歴	位置情報	契約者固定ID
電話帳データ	メール送信履歴	映像・写真情報
ネット検索・閲覧履歴	SNS利用履歴	アプリ利用者情報
ゲーム利用状況	店舗検索情報	物品購入履歴

インターネット上に保存されているこれらの情報やデータはAIに分析され、あなたの傾向として把握されていることをご存じでしたか？例えばあなたの好みに関連した広告が届いたり…。ネット利用時には先ずこのことを自覚しなければなりません。



情報の受信・発信の裏側

『受信』…インターネット上の情報はすべてが“真実”とは限りません。必ず発信者により構成・編集されており、年齢も性別も性格もごまかすことができます。ファクトチェックが必須となります。



『発信』…一度インターネット上に送り込んだ情報はもうコントロールできなくなります。しかも発信した内容は保存され、拡散される場合もあり、ネット上に残り続けることになり、デジタルタトゥーとも呼ばれます。発信の際は、構成・編集している自覚と覚悟が必要です。

また、情報の受け取り方は人によって様々で、誰もが肯定的に受け取ってくれるとは限らず、ときには傷つくこともあります。

ネット依存の子供たち

ネット依存疑いの中高生

93万人（厚労省調べ）

<参加者の声>

- 親が手本となるような使い方ができていないですね。
- スマホやゲームの仕組みや使い方、セキュリティの知識を持たないといけない。
- 子供が低学年のうちには絶対にやらせないようにする。
- 仕事でスマホを食事中に使用した。今回の講演会で改めて考えさせられた。

大人のできること・すべきこと

ネット社会もゲームも大人がつくり出したものです

大人がなんとかしなければ…

□フィルタリングの設定

18歳未満はフィルタリングをする。※法律で定められています。

□使わせるならルールづくり

※就寝時間と起床時間は死守する。生活のリズムを守ることにつながります。

一方的に押しつせず、子供とよく話し合って決める。

ペナルティは子供が決める。

子供の成長に合わせてルールの見直しをする。

□手本を示す

子供に誇れるような使用の仕方をする。